

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 令和6年 3月 21日

公表: 令和5年 3月 28日

事業所名 放課後等デイサービスたいよう

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	4	施設全体を療育に使用できるようにプログラムを組んでいる。	指導訓練室は狭いが、活動に応じて使用する場所を考えている。
	2	職員の配置数は適切である	7	1	新たに従業員を配置予定。	認可配置以上に配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1	バリアフリーとなっている。	危険箇所をがないか定期的に確認している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	業務改善ミーティングと個別目標管理面談を実施し、改善を進めている。	業務改善の振り返りを実施していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	評価やご意見をもとに改善している。	保護者アンケートを継続し毎年実施する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1	愛生館ホームページにて公開	毎年ホームページ内容を更新していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3	今後第三者評価を検討する。	今年度は第三者評価を実施していないため、実施を検討している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1	外部・内部研修を計画的に実施している。	全職員に研修を実施した。次年度も同様に実施する。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	児発管を中心に分析し作成している。	相談支援事業所や保護者に聞いた情報を共有して計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1	発達アセスメントシート使用している。	発達学会に参加し随時新しいものに更新していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	プログラムは従業員全員で考えながら改善している。	発達に応じたプログラムの取り入れと見直しを繰り返している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	活動は変化させている。	変化させながら効果を図っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	0	期間に応じて設定を変更している。	長期休暇は、平日ではできないような課題を設定している 工作、料理など
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	個別・集団ともに実施している。また書面で共有している。	毎日個別・集団が必ず実施できるよう組んでいく。職員間の共有が課題。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	役割分担と担当をわけている。	毎日変化させている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2	従業員どおしで振り返りと共有を実施している。	勤務時間が異なるため全員揃う午前中に行なっている。時間が合わない従業員は記録を確認している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	記録を毎日つけ見直している。	指導員と児発管にて見直した内容を改善につなげる。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	児発管が計画を見直している。	計画の共有を実施し、指導員の療育に結び付けている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8	0	基本活動は変化させて組み合わせている。	ガイドラインを定期的に確認する。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	児発管が参加している。	内容を全従業員と共有していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	家族や学校と連携し情報収集に努めている。	何かあった時には、すぐに家族へ報告、連絡している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	該当なし			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	0	保育からの情報提供を書面で受けている。	場合によっては保育園に様子をみにいくようにする。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	0	情報提供書を用いて、情報提供している。	卒業後の連携先と必要に応じて直に説明する体制をつくる。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1	相談事業所の相談員と連携している。	今後も密な情報共有を実施する。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	7	他事業所と交流している。	他事業所や公共の場所などに行って交流している
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	2	社会福祉協議会主催の会議に参加している。	今後も定期的に参加する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	保護者と共有する機会を設けている。	個別や集団でも実施していきたい。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	6	現在は実施していない。	今後トレーニングも含めて検討していく。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	契約時に説明している。	契約は個別に十分な時間をとっているが、多岐にわたるため、随時質問は受け付けている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1	送迎時や電話・事業所来訪時に対応する。	できる限り定期的に時間を個別につくっていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7	現在は実施しないため、今後検討する。	保護者会について今後開催を検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1	苦情対応マニュアルと報告経路を設けて対応している。	苦情に関しては速やかに対応を周知し、繰り返しおこらないようにする。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1	ICTを用いて案内している。	法人全体の会報だけではなく、事業所独自の会報等があると良いため今後検討する。
	35	個人情報に十分注意している	8	0	個人情報保護マニュアルに基づき、実施している。	マニュアルは定期的に見直し周知する。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	ICTを用いて個別に連絡している。	実際の声を聴く時間が少ないため、送迎時にもしっかり傾聴できるようにする。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	7	1	行事には広く地域へ案内している。	今後も行事に参加していただけるよう幅広く呼び掛ける。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1	マニュアルは整備されている。	一部防犯訓練が未実施のため、計画的に実施していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	避難訓練を毎月実施している。	計画的に施設全体で実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1	研修と自己チェックを実施している。	ミーティングで虐待の有無を確認している。毎年、定期的に研修と自己チェックを実施し、分析する。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	0	マニュアルに明記し、報告経路を基に承認し子ども・保護者に十分に説明し理解を得るようにしている。	マニュアルを定期的に見直す。マニュアルの周知も徹底する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2	事前申告を確認している。	医師の指示書対象児なし。保護者からの情報共有は行なっている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	2	定例の報告書で実施している。	ヒヤリハット報告書を基に情報共有していく。